

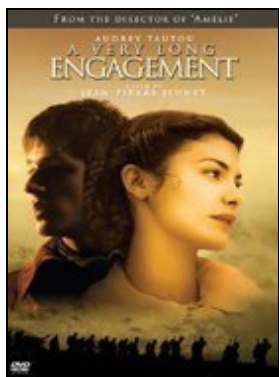
Les Ressources du mois

- Janvier 2010 -



Alliance Française de Sapporo
札幌アリアンス・フランセーズ

Notre film coup de cœur



Un long dimanche de fiançailles, Jean-Pierre Jeunet, 2005

大ヒットした『アメリー』に続いて、ジャン=ピエール・ジュネが2003年に取り組んだのは、セバスティアン・ジャプリゾによる悲劇の感動大作『長い日曜日』の映画化。

動揺しながらも追求し続けるマチルドの姿を通して、第一次世界大戦の悲惨さと残酷さが浮かび上がる。また、映画の中で語られる場面の大部分は実話を基に描かれている。

このジュネの叙事詩は、歴史上の苦しい時代を辿りながら、あくまでも原作に忠実に、細部にまでこだわって丹念に作り上げられた驚くべき作品である。

À écouter à tout prix !



Qui de nous deux, M, 2005

“M”（マテュー・シェディド）は、70年代ポップ、ファンク、そしてギターロックの申し子。画一化された音楽界の中、この4枚目のアルバムでは、異次元のミュージシャンというか、エレクトリカル・ロックンロール（!?）でド派手なことをやってくれています。

とはいっても、繊細かつ巧妙なメロディーを、カッコいいアレンジで放出しているみたいなところは、本物のプロという感じ。

BD du mois



L'Autoroute du soleil, Baru, 1995

ローヌの労働者街に住むカリムは、極右政党の政治家の妻を誘惑してしまう。結果、その政治家の手の者から逃れるために、町を出る羽目に・・・。

“L'Autoroute du soleil”（太陽のハイウェイ）は、フランスで“マンガ”として発行された先駆的作品の一つ。アクションと政治を効果的に組み合わせ、労働者や郊外で暮らす人々の苦しみ、社会に溶け込むことの難しさなどを題材に、現代社会の抱える問題に真っ向から取り組んでいる数少ない作家の一人である。

Pour les petits (et pour les grands...)



La belle lisse poire du prince de Motordu, PEF, 1980

モトルデュ王子は、優雅な生活を送っていましたが、皆と同じように話すことができませんでした。

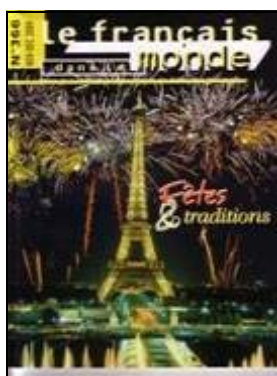
彼の口を通すと、シャトー（城）はシャポー（帽子）に、ドラポー（旗）はクラポー（ヒキガエル）に変わってしまうのです。

そんなある日、デゼコール王女に出会った王子様は、美しい言葉を話すべく学校で授業を・・・。

La presse française à l'AF

アリアンスでは、フランスで発行されている新聞や雑誌を取り揃えています。毎回1冊を取り上げ紹介していきますので、ぜひご利用ください。バックナンバーは、生徒及び会員の方に、貸し出しを行っています。

今回はフランス語の学習に最適な雑誌をご紹介します。



Le Français dans le monde

Hachette

隔月刊

フランス語教育向け雑誌。フランス語に関するだけでなく、文化・文学・芸術・経済・社会事情等、様々な分野を色々な角度から取り上げ授業にも利用できるよう非常に良く考えられた雑誌です。

毎号ではありませんが、CD・ビデオ等（貸出不可）が用意されています。

現在は、366号を閲覧用に展示しています。